

## 財務委員会議事録

1. 開催日時 2025年7月10日(木) 14:00～14:50

2. 開催場所 遊技会館 3階 大会議室  
及び以下の出席者はWEB会議システムにより  
本委員会に出席した。

(WEB出席者) 山本委員(北海道) 若林委員(青森)

3. 出席者 松尾担当副理事長(長崎) 工藤委員長(岩手)  
杉本委員(京都) 全本委員(鳥取)  
高橋顧問税理士

|         |        |         |
|---------|--------|---------|
| 太田専務理事  | 松谷事務局長 | 柳原調査役   |
| 浅井事務局次長 | 小林庶務課長 | 小林庶務課係長 |

### 4. 議事

議事に先立って、あらたに財務委員に就任した杉本委員(京都)の紹介があり、挨拶があった。

#### (1) 2024年 第1・四半期決算報告について

事務局から、資料に基づき、全日遊連と全日防連の第1・四半期決算を損益予算実績対比表等で、特に変動の大きな事項を中心に詳細な報告説明があり、収入では賦課金、ヤクルトとの年間契約金、遊報機関紙の広告料、ゲームカードジョイコホールディングスからの配当金などの報告があり、事業費用と一般管理費については予算範囲内である旨の説明があり、検討の結果、承認した。

#### (2) 預金口座の運用方法について

事務局より、現在、全日遊連の預金口座は2005年のペイオフ解禁時に決済用預金(無利息)に変更したが、現在の金利情勢や安定した金融情勢を踏まえ、金利が発生する普通預金または定期預金への変更の提案があった。また、三井住友銀行の預金をすべて普通預金(金利0.2%)に変更すれば年間約150万円の利息が得られる可能性があることが説明した。デメリットとしてペイオフのリスク(1金融機関につき1,000万円までしか保護されない)が挙げましたが、委員

会はこの提案を承認し、事務局に具体的な運用方法の検討を一任することになった。また、次回の全国理事会で報告事項として報告することとした。

(3) パチンコ・パチスロ社会貢献機構の助成事業について

事務局から、資料に基づき、一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構の助成事業(総額 3,594 万円)に対して社会還元預り金 2,000 万円を支出する旨の説明があり、また助成金は依存問題対策や子供の健全育成などの事業に使われることが説明された。過去 5 年間の依存関連助成金の推移も報告され、助成金総額の約 40%超が依存関係の事業に充てられていることの説明があった。検討の結果、了承した。

(4) 株式会社遊技会館の株式について

事務局より、資料に基づき、株式会社遊技会館は全日遊連事務所の土地と建物を所有及び運営している会社で、株主は各都道府県遊協と個人株主との概要説明があり、以前から手続きを進めている個人株主の買取状況が報告され、当初株主数 244 名、1 万 8,514 株の個人株主が今年4月末現在株主数 31 名、1,470 株買取手続きを行っていることの報告があった。また、次回の全国理事会の冒頭で株主総会が開催される予定であると報告があった。

(5) その他当面の諸問題について

今後の財務委員会の予定が確認され、11 月 6 日と 2026 年 1 月 16 日に開催され、1 月 16 日は 16 時開始予定の、その後懇親会が予定されていることの報告があった。2026 年 3 月及び 4 月の予定については次回の 11 月の財務委員会で決定することとした。

以上